

～「ひごラボ」ホームページがオープン～

人吉・球磨復興支援プロジェクト
地域と「共に学び、考え、行動する」
事業アイデア公募開始

独立行政法人国際協力機構九州センター（以下、JICA 九州）と熊本県球磨地域振興局が連携して取り組む地域課題マッチングプラットフォーム「ひごラボ」（※概要は別添資料参照）は、昨年 12 月のキックオフから多数の地域課題と提案を収集し、4 月には最初のマッチングが成立したところです。

この度、地域課題の収集及び外部からの提案を促進するため、ひごラボのホームページを開設し、人吉球磨地域の課題及び企業等からの課題解決に向けた提案の受付を開始します。

なお、提案受付開始に併せて、ひごラボの認知度向上を目的に、人吉球磨地域で躍動するくまモンを表現したロゴマークを作成し、使用許諾の申請受付を開始します。

記

1. ホームページについて

(1) 受付開始 令和4年（2022年）5月10日（火）10：00～

(2) 手続きの流れ

- ① 地域からの課題・困りごと：受付フォームの「課題入力フォーム」より送信
- ② 県内外企業からの提案：同フォームの「アイデア提案フォーム」より送信
- ③ ひごラボ事務局において①および②の審査、ヒアリングを実施
- ④ 事務局によるマッチング先の選定、実証ヒアリング
- ⑤ 実証開始

(3) リンク先

URL：<https://higolab.jp/>

QRコード：右図参照



2. ロゴマークについて

- (1) 申請対象 ひごラボの発信を目的とする活動に従事する者
- (2) 申請方法 ホームページを通じひごラボ事務局に申請



問合せ先

[ひごラボ事務局]

1. ホームページについて

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社（JICA九州からの受託事業者）
市川、金川（TEL：070-8702-7649）

2. ロゴマークについて

熊本県南広域本部球磨地域振興局 総務振興課
中村、山口（TEL：0966-24-4113）

<ひごラボの概要>

「ひごラボ」は、人吉球磨地域における令和2年7月豪雨災害からの創造的復興のために、JICA九州と球磨地域振興局が連携して取り組む、企業等からの提案と地域課題のマッチング及びそのモデル作りを行う事業です。

人吉球磨地域は、災害による甚大な被害から、地域の人々の粘り強い復興活動と地域外のサポートにより、徐々に元の姿を取り戻しつつあります。

ひごラボは、この復興の勢いを加速させるために、地域から抽出された課題と、課題解決のアイデアをつなげて、地域の社会課題解決を図ります。

1) ひごラボの特徴

- ◇ 常駐スタッフが行政と民間事業者の地域課題を広くカバー
 - ◇ 地域の課題オーナーと提案者を繋ぐコーディネート機能
 - ◇ 来訪時の旅費交通費の一部支援
 - ◇ 当地域での実証活動を生かした開発途上国での事業発展の可能性の検討
- ※JICAでは海外の開発途上国での事業支援を行っております



2) 地域課題

- ◇ 下記それぞれの地域が抱える課題例です。地域で自社のサービスやソリューションを実証したいという提案事業者様をお待ちしています。



3) 事業者からの提案

- ◇ 下記は提案事業者様からの提案例です。地域で皆様からの積極的なご相談をお待ちしています。

No.	テーマ	提案
1	防災	消防団向け火災・水害発生時の消火栓等の情報共有アプリ
2		スポーツの要素を取り入れた地域住民への防災啓蒙イベント企画
3	防災・人材	防災を中心とした学生ボランティアの斡旋と地域への派遣
4	人災	地域企業・団体への大手企業プロボノ人材の短期受け入れ
5		マルチリンガルな外国人人材の派遣
6		地域内の困りごとをゲーム感覚で解決するプラットフォーム
7	観光	地方移住×農業体験のワーケーション企画
8		妖怪をキーコンテンツとした地域の魅力発信イベント等の企画
9	情報	中山間地域の新しい通信インフラ（防災・林業・観光、等）
10		特定の絵・アイコンをQRコードのように使えるシステム
11		地域活動等活性化のためのチラシ情報共有アプリ
12	地域交通	ボランティアドライバーによる地域の移動手段の仕組みづくり
13	農業	小規模農家間での金銭的負担を軽減した農機具共有モデル
14	エネルギー	補助金活用の再エネ地産地消モデル、ならびに蓄電池防災モデル
15	物産・交流	商品を購入した都会の人とオンラインで対話するイベントの企画

以上